

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急情報セット活用支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	高齢者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	石井 由美子				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住の65歳以上の高齢者のみの世帯及び障害者手帳を取得している希望者	意図	市内在住の65歳以上の高齢者のみ全世帯及び障害者手帳を取得希望者へ配布
事業内容	あらかじめ緊急連絡先やかかりつけの医療機関、持病や服薬などの情報を記入し、保管容器に入れ冷蔵庫に設置しておくことで、119番通報で駆け付けた救急隊員が、記入してある情報をもとに、本人が意識のない場合でも迅速な救急・医療活動を行えるように備えるものである。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度に1,000本、平成28年度に800本購入した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	配布数	362	375	710		↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
救急情報セットを設置することで、迅速な救急活動が行え、かつ高齢者等が安心感をもって日常生活を送ることができる。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	911,572	671,200	659,200
事業費(b)(円)	225,072		
うち一般財源	225,072		
職員給与費(c)(円)	686,500	671,200	659,200
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	必要な人に行き渡るように広報、ホームページ等により周知を図る。	③取組における課題(Check)	必要な方に届けられるよう、各種地区説明会においてもPRを図っていく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	広報、ホームページ等による周知のほか、民生委員、自治会に協力をいただき必要な方に配布した。地域支え合い活動と統合し、様式を統一した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き広報、ホームページ等による周知のほか、民生委員、ケアマネジャー、自治会に協力をいただき必要な方に配布する。